

平成23年度（2011年度）第2回池田市図書館協議会会議録

日時：平成23年11月20日（日）午前10時～午後12時00分

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：（委員）たつみ会長、丸山副会長、富阪委員、彭委員、牛嶋委員、岡部委員、
山神委員
（事務局）田淵教育部長、榊野図書館長、東本石橋プラザ館長、南副館長、
杉本副主幹、谷主査

傍聴者：なし

議題 1 広域利用について
2 その他
平成22年度図書館活動（報告）

配布資料 ・出席者名簿
・池田市の図書館活動 平成23年版
・大阪府下公共図書館状況（平成22年度）
・「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」との比較（平成23年3月31日現在）
・「この本あの本どんな本？ヤングアダルトおすすめ本」

部長挨拶

榊野館長挨拶

会長 それではお手元の次第に沿って進めていきたい。まず、広域利用について事務局より報告をお願いします。

事務局 豊能3市2町の広域利用については、以前から計画はあったが実施に至らず、今年7月から各市町の図書館と政策部門も加わり、来年4月スタートを目指し池田市が事務局となって話し合いを進めているところですが、各市町で貸出条件等が違うため一本化するのはなかなか大変で、今のところ図書館カードは各市町のカードで対応すること、貸出は2週間5冊（2町は3冊）までにすること、他市の住民の予約は受け付けないといったところについては合意しています。来年は試行、本格実施は3年後とし、この試行の3年間で各市町の不都合を検討しながら解決して取り組んでいこうということです。

会長 報告について、何かご意見、ご質問は。

委員 今の構想でいけば、池田市民は池田で8冊、豊中、箕面で各5冊、計18冊借りられる

ということですね。

事務局 そういうことになります。ただ、カードを統一することは図書館システムにも関わってきます、現段階では難しい。兵庫県の7市1町の広域利用は理想ですね。本がどこでも借りることができて、どこでも返すことができますから、本当の意味での広域利用と言えますが、実施するには配送業務の費用も問題になってきます。たとえば池田の本が庄内の図書館に返却されたらどういう方法で池田に運ぶのか、こういう問題が各図書館で発生することになります。

事務局 この広域利用は、大阪府からの事務の権限移譲が進んできた中で、3市2町の政策部門が中心になって進められています。教育分野では、教職員の人事権移譲をやりましょうということで、府下の任命権者として小・中学校の人事をやっていたが、それを3市2町で移譲していこうと。これらの動きの中で図書館の問題も以前から議論になっていたが硬直化していてなかなか進まなかったものが、この事務移譲の流れの中で気運が高まってきた条件が整備されてきたのがひとつの大きな理由だと思います。図書館の問題だけが大きくなっているのではなく、全体の権限委譲の中でこれもやっっていこうという方向が出てきているということです。

委員 この広域利用を活用するには何枚もの図書館カードを持たないといけないということですね。

委員 全国統一カードがあれば理想的ですが、なかなか難しいでしょうね。

委員 4月1日から広域利用がスタートするということは来年度の1つの目玉で話題性が高いと思う。

会長 まずは4月1日実施ということですが、次回の協議会までに要点をまとめたレジュメがあればと思いますので、よろしくお願いします。他に何かありますか。

委員 ともかく広域利用の実施は利用者にとってうれしい事です。ぜひ府県を越えての広域利用が出来るようレベルを上げていってほしいと思います。

会長 それでは、次の議題平成22年度の報告をお願いします。

事務局 (池田市の図書館活動 平成23年度版・大阪府下公共図書館状況により説明)

委員 茨木・高槻の利用率が高いのは、やはり市役所の中にあるということと駅に近いことですか。

事務局 そうですね

事務局 参考までに箕面はICシステム化により、自動貸出機で子どもから大人まで貸出、返却、

予約もすべて自分で出来るようになるそうです。

事務局 本館でも現在 I C 化の準備段階として I C タグを貼る作業を行っているところです。

委員 その場合盗難防止装置とかがいるのでは。

事務局 全部の本に I C タグを貼らないといけないのですが、今考えているのは盗難防止装置を早めに入れて禁帯本や貴重書などの不正持ち出しを防止したいと考えています。

委員 池田が分室を作るとしたらどんな地域が必要とされているか。

事務局 池田は中心部に本館、石橋プラザ、駅前サービスポイントがあり、縦に長いので伏尾台とか神田地域といった北部及び南部の地域に必要であると考えています。

委員 箕面と比較したら少なくとも、もう 1 館ほしいですね。

委員 今の保健所を借りて 1 階を地産地消の店等にして、2 階を図書館にしたら駅に近いし、人通りもあるのでいいのではと、市長にいていたが市長が変わってしまうので…。

委員 中央公民館は場所的にはいいと思う。

委員 川西市は中央図書館 1 館だけで、あとは市内の 10 公民館とオンラインで結び図書の検索や予約、貸出が出来るようになっている。駅前でこんなに人気があるということは、自分の生活圏の中にあれば活性化するのは。公民館におられるのはパートの方で 4 時間ぐらいの勤務なのでそれほど人件費もかからないし、コンピュータをインターネットでつなげればできるのでは。池田の場合、学校がだめなら、共同利用施設が多くあるのでそれを利用することはできないのか。

事務局 従前から図書館協議会ではハードの部分は議論いただいておりますが、駅に近い所にドカンと大きな分館を設置するというのはなかなか現実的ではない部分がある。ですからネットワーク化をより図っていこうという方法はあると考える。そのネットワーク化の中で、学校施設も含めた共同利用施設の活用も 1 つの重要な部分ではあるのかなと思う。また、公民館の建て替えが市の第 1 期実施計画の中に挙げられております。可能ならば、その中に図書館機能をどれだけ入れていけるのか、その時に駅前サービスポイントとの整合をどう図るのか、更に学校施設の再編整備が進めばどう活用できるのか、そういう部分では図書館機能は一つの大きなメリットがある。現実的なのは公民館かなという部分があるが市長が変わったので…。第 1 期向こう 4 年間の実施計画もあり財源の裏打ちもあって一応設定されている。

委員 先ほどの説明の中で利用者数や予約件数が増え、貸出業務や予約処理に時間がとられていると言っていたが、図書館の利用が伸びていることのメリットはわかるが、デメリット部分は今言った他にあるのか。

- 事務局 ベストセラー本の予約が100件を超えた場合、予約者20人に1冊増やすようにしているが、一時的なものでブームが過ぎれば極端に減るので資料保存の観点からみるとそういう複本の買い方はしたくないが、悩ましいところです。
- 委員 たとえば、私もベストセラー本も買うが読んだらすぐにいらなくなる。1ヶ月くらいならブームはまだ続いているのではないですか。市民にもっと呼びかけてはどうか。
- 事務局 ホームページやリサイクル本の設置場所に寄贈の呼びかけをしていますが、残念ながら寄贈があるのがブームを過ぎてからです。購入上限冊数は5、6冊としていますので、寄贈があればすぐに入れるようにしている。
- 事務局 予約件数が大幅に増えており、インターネット予約の場合は自動的にメール配信されるので手間はかかりませんが、そうでない人には電話連絡をする必要があります、その作業に1、2名がかかりきりで、一日で終わらないこともあります。その対応に追われ、レファレンス業務、展示や行事の企画などに力を入れたくてもなかなか思うように出来ないのが実情です。
- 委員 利用が増えるというメリットもあるが、そういうデメリットを今後どう解決していくかが今後の課題ですね。
- 委員 本の種類のことでいつも気になっていたが、リクエストでお願いしたら大抵買ってもらっていた。リクエストとか本の種類によって予算が決まっているのか。またリクエストの量によって予算が偏るといえることがあるのか。
- 事務局 図書館としてずっと置いておきたい本は出版事情もあり優先的に買います。各分野の本をできるだけ偏らないように選書を心掛けており、専門書に関しは、その分野の参考になるような入門的なものを中心に選書します。リクエストに関しては、現在のところコミックに分類されるのはお断りしており、その他は選書委員会で話し合って購入するかどうかを決めています。購入できない本は相互貸借も利用し、今のところリクエストのために予算が偏るといったことはございません。
- 委員 広域利用がはじまるのであれば、池田の図書館にはこういう特色があり、故に他館にとってもメリットがあるのだと打ち出していけるとすれば、戦略的にこの分野の蔵書がうちは層が厚いということで計画的に本を購入していけるのではないのでしょうか。
- 事務局 今、他館から借受け依頼が多く来るのはオックスフォードのリーディングトゥリーという洋書の絵本です。府下でもうちと枚方ぐらいで、あちこちから貸借依頼がきます。この本はイギリスで教科書などに使われているような初歩的な絵本で、年代別、レベル別にたくさん出ていますが、子ども英語教育に関心を持たれる方も多く、利用が多いです。
- 委員 小学校の英語導入の影響でしょうね。

事務局 池田は英語特区というのもありましたので、ただまだ各館単位でうちはここに力を入れようかというのはあると思いますが、全体として池田はこれ、箕面はこれというふうに出たら広域利用の更なる可能性も広がるのではないのでしょうか。最終目標はそういうふうにできたらいいと思います。

委員 館長、是非ともどこかで提案してください。

事務局 まだまだ初歩段階ですので、色々なことを前向きに協議していきたい。その中で機会があれば、今日いただいたご意見を出していけるようにしたいと思います。

会長 これで本日の次第は全て終了。次回の協議会は平成24年2月26日（日）午前10時から開催。